

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター  
平成 23 事業年度 年度計画評価表

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 平成23事業年度 年度計画評価表(案)

項目番号			年度計画		実施 状況	地方独立行政法人		評価委員会評価		
大	中	小	内 容	目 標 数値等		自己評価		評 価	評 価	評価の判断理由・評価に 対するコメントなど
1			住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置							
	1		医療センターの医療機能		実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織体制の強化、関係諸規程の追加整備及び見直し等を図り、地域の中核病院としての医療機能及び4疾病、4事業に対応した医療機能を確保するための人員体制等を整えた。</li> <li>理事(H22) 3人→(H23) 5人</li> <li>職員(H22) 4人→(H23) 12人</li> <li>基本設計に基づき、千葉大学医学部・同附属病院と連携し、4疾病4事業にも対応可能な医療機能を有する実施設計図書を作成した。</li> </ul>	3	3		
	2		医療センターの施設整備							
	(1)		平成22年度に東金市・九十九里町から出資を受けた『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、下記内容について、工事实施のために必要な実施設計図書を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>病院本棟及び防災倉庫・エネルギー棟</li> <li>保育所</li> <li>ドクターヘリ・ヘリポート</li> <li>外構</li> </ul>		実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立団体より引き継いだ『地域医療センター基本設計図書』及び『地域医療センター建築敷地地質調査報告書』に基づき、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書を作成した。</li> <li>建設工事の発注にあたり有識者等の意見を聞くため、「建設工事発注検討委員会」を設置した。</li> <li>建設工事発注検討委員会の提言を踏まえ、発注方法については、病院本棟ほか附属施設を含め一括発注とした。</li> </ul>	3	3		

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工者選定方式については入札参加資格は単独、JVを問わない制限付き一般競争入札を採用し、低入札の際の品質確保の担保として低入札価格調査及び瑕疵担保責任期間を5年とした。また施工者の技術を生かしたコスト低減を図るため契約時交渉方式を採用した。</li> <li>・建設工事の発注については、平成24年3月27日に当該工事の入札を予定していたが、不調となったため、設計の見直し等を行い、再入札の準備を進めた。 (注：建設工事については、再入札により平成24年4月26日に(株)大林組が8,179,500千円で落札し、翌27日に同額にて契約した。)</li> </ul>		
(2)	<p>工事の着手に法令上必要となる下記の諸手続を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法第29条の規定に基づく『開発行為許可』</li> <li>・建築基準法第6条の規定に基づく『建築確認』その他</li> </ul>		実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法第29条の規定に基づく開発行為許可申請の手続きを行った。 (平成23年10月13日当初許可) (平成24年2月20日変更許可)</li> <li>・建築基準法第6条の規定に基づく建築確認申請の手続きを行った。 (平成24年4月3日確認通知)</li> </ul>	3	3
(3)	<p>医師・看護師宿舎については、プレハブ形式を基本とした発注方法等の検討を進める。</p>		実施	<p>医師・看護師宿舎については、利用者の安全性に配慮するとともに、プレハブ形式を採用した。</p>	3	3
(4)	<p>保育所、医師・看護師宿舎については、隣地との住環境の調和や防犯に配慮した施設整備とする。</p>		実施	<p>保育所、医師・看護師宿舎については、住環境・防犯に配慮した実施設計とした。</p>	3	3

	(5)	工事を実施するのに必要な全体工程を策定する。	実施	工事実施に必要な全体工程表を作成した。	3	3	
	(6)	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインについて、基本設計における考え方をもとに外来部門を中心としてさらに詳細な検討・設計を行う。</li> <li>技術革新による医療機能の変化及び社会状況の変化による病院機能の将来的な拡充やプラン変更について、基本設計における考え方をもとにさらに具体的な検討・設計を行う。</li> <li>ドクターヘリ・ヘリポートは、基本設計における考え方をもとに地域住民の住環境への影響の少ない進入及び着陸空域の詳細な設定をする。</li> </ul>	実施	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来部門を中心として、ユニバーサルデザインを採用する実施設計とした。</li> <li>病院機能の将来的な拡充やプラン変更に対応できる実施設計とした。</li> <li>障害者にも使いやすい病院とするため平成23年8月11日に障害者福祉団体連絡協議会と意見交換を行った。その際の意見も参考として実施設計を行った。</li> <li>ドクターヘリ・ヘリポートは航空法に適合し、かつ敷地内において可能な限り地域住民の住環境への影響の少ない進入及び着陸空域を設定した。</li> </ul>	3	3	
3		医療センターの設備整備					
	(1)	<p>病院本棟及びエネルギー棟の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費を踏まえた、イニシャルコスト、ランニングコスト等の比較による省エネルギー対応の検討と方針の決定</li> <li>各部門の機能、部屋の広さ、役割に対応した設備容量の決定</li> </ul>	実施	<p>病院本棟及びエネルギー棟の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イニシャルコスト、ランニングコストを検討した結果、空調ポンプ、外気調和機等について省エネルギー設備を導入することとした。</li> <li>各部門の機能、部屋の広さ、役割に対応した設備容量とした。</li> </ul>	3	3	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸室内の医療機器配置等に対応した衛生器具、空調機器の配置</li> <li>・ 諸室の機能に対応した医療ガスアウトレットの配置</li> <li>・ 災害時の医療活動を考慮したライフラインの系統分け</li> <li>・ メンテナンス性や使い勝手を考慮した設備仕様の決定、配置</li> <li>・ 災害に対応した非常用電源（自家発電設備等）としての適正な設備容量の決定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸室内の医療機器配置等に対応した衛生器具、空調機器を配置した。</li> <li>・ 諸室の機能に対応するよう医療ガスアウトレットの配置を行った。</li> <li>・ 災害時の医療活動を考慮し、エネルギー源の多重化を図った。</li> <li>・ メンテナンス性や使い勝手を考慮した設備仕様の決定、配置を行った。</li> <li>・ 災害に対応した非常用電源としての設備容量を算出し採用した。</li> </ul>			
(2)	<p>主要な放射線関連医療機器等の整備計画の見直し、更新を図る。</p>	実施	<p>医療機器整備計画に基づき、什器備品配置案の作成及び選定、発注ルールの検討を行った。</p>	3	3	
(3)	<p>医師看護師宿舎の設備整備は次の事項を配慮して仕様を検討し、決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災、事故等を予防できる安全な設備</li> <li>・ 医師、看護師の多様な勤務形態にも使いやすい設備</li> </ul>	実施	<p>医師看護師宿舎の設備整備は、火災、事故等を予防でき、医師、看護師の多様な勤務形態にも使いやすい設備とした。</p>	3	3	
(4)	<p>院内保育所の設備整備は基本設計に基づき、次により実施設計を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常保育のほか、体調不良児の保育にも対応できる設備</li> <li>・ 安全性、快適性に配慮した空調、衛生設備</li> <li>・ 火災、事故等を予防できる安全な設備</li> </ul>	実施	<p>院内保育所の設備整備は、体調不良児の保育にも対応可能で、安全性、快適性に配慮した空調、衛生設備を配し、火災、事故等を予防できる安全な設備とした。</p>	3	3	
4	<p>医療センターの人材確保</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム(千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センター)を応用した医師派遣システム</li> </ul>	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師に関しては、医師派遣システム導入のため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進めた。</li> </ul>	3	3	

	<p>を導入するため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師に関しては、人材確保のための専門体制を整えるとともに、募集活動を開始する。</li> <li>・将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため奨学金制度の運用を開始する。</li> <li>・看護実践の場においてリーダーとなる人材を育成・確保し高水準の看護を提供するため、認定看護師の資格取得のための支援を開始する。平成23年度には公募を実施し、平成24年度に採用する。</li> <li>・千葉大学、千葉県立保健医療大学、城西国際大学等の教育機関と連携し、看護師、薬剤師その他の人材の確保の基盤を整える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度採用予定看護師の募集を行い、予定数5人の採用を行った。また、平成24年度以降の採用看護師の研修を行うため、受入先予定の千葉大学医学部附属病院と協議を行い研修のための体制を整えた。</li> <li>・看護師に関しては、看護部長の就任により募集体制を整え、全国の看護師養成施設等を訪問し、奨学金制度の説明を含め、募集活動を実施した。 訪問施設総数 83施設 奨学金給付者 8人(計画15人) 奨学金受給者8人の内訳 平成24年4月採用予定 1人 平成25年4月採用予定 3人 平成26年4月採用予定 4人 (平成23年度に東金市看護師養成奨学資金貸付条例が制定され、医療センターに係る奨学金制度が別に整えられ、平成24年度から城西国際大学看護学部学生15人が奨学金の給付を受けることとなった。)</li> <li>・認定看護師資格取得支援として6人分を公募したが、平成23年度内での応募はなかった。当該制度については、平成24年度も引き続き行うこととする。</li> <li>・平成28年度までの「医師、看護師、コメディカル職員、事務職員」についての各採用計画を策定し、人材確保の基盤とした。</li> </ul>		
5	医師会や地域の医療機関等との連携				

		地域完結型の医療提供を行うため、行政機関と連携し、県及び郡医師会、近隣医療機関等と急性期医療や慢性期疾患に対する医療等の医療機能の役割分担を推進する取組みを進める。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度から医師会等との連携の基本となる山武都市医師会、千葉県医師会、日本医師会に加入した。</li> <li>平成24年2月13日に地域医療の協議組織である山武地域医療協議会に加入した。</li> <li>千葉県、県病院局、千葉大学医学部附属病院等と地域連携その他を今後協議していくための連携協議会設立に向けた事前協議を行った。</li> </ul>	3	3	
2		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
	1	効率的で財政上も健全な運営方法の確立	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書の策定及び調整を行った。</li> <li>政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、業務委託基本計画を策定した。</li> </ul>	3	3	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に作成した病院全体の医療情報システム構築のための計画に基づき、医療センターが目指す機能を考慮した医療情報システムの基本となる計画を策定する。</li> <li>政令8業務を含む外部委託に関する基本方針に基づき、委託する業務を精査する。</li> </ul>					
	2	魅力ある人事・給与制度の確立	実施	医療職(看護師)の給与制度を整えるため、人事労務制度基本設計書に基づき給与規程等を整備した。	3	3	
		平成22年度に策定した人事評価制度、給与制度、退職金制度、前歴加算制度等の各基本方針を定めた人事制度基本設計に基づき、地方独立行政法人としての有利性を生かした人事・給与制度の仕組みづくりを進める。					
	3	会計制度の整備と運用	実施	建設工事の契約を踏まえ、契約規程の一部を改正した。財務会計を基本である手作業による伝票方式の帳簿からパソコンにより集計する帳簿方式に改めた。	3	3	
		地方独立行政法人の財務会計制度を生かし、柔軟な運用が行えるよう会計規程の見直しや、帳簿組織を確立するために更なる精査・検討を行う。					
3		財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					
	1	健全な経営基盤の確立					

	(1)	権限と責任の所在を明確にした組織の確立 平成25年度までに病院開設後必要となる組織計画を策定するため必要な検討等を行う。	実施	前年度に引き続き、病院開設後必要となる組織計画を策定するため、組織規程等の一部改正や必要な検討等を行った。	3	3	
	(2)	経営情報システムの構築 平成22年度に作成した病院全体の医療情報システム構築のための計画に基づき、医療センターが目指す機能を考慮した医療情報システムの基本となる計画を策定する。(再掲)	実施	医療情報システム導入業務作業実施計画書に基づき、医療情報システム基本計画書の策定及び調整を行った。(再掲)	3	3	
2		支出の適正化					
	(1)	建築関連 起債償還、メンテナンス等の将来的な経営負担と医療センターに必要な機能や効率性の確保についてバランスのとれた実施設計を行う。特に、公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守する設計とする。	実施	公立病院改革ガイドラインを踏まえ、整備費の抑制を考慮した設計内容とした。	3	3	
	(2)	人件費関連 医師、看護師等の給与等については、非公務員による運営であることを踏まえた給与制度の構築を図る。	実施	医療職(看護師)の給与制度を整えるため、人事労務制度基本設計書に基づき給与規程等を整備した。(再掲)	3	3	
	(3)	経営シミュレーションの実施 医療制度、診療報酬制度の改定、実施設計による建設費の確定等にあわせ、必要に応じ将来的な財務内容の適正化及び健全化の見直しを立てるため、随時経営シミュレーションの見直しを行う。	—	本年度においては収支シミュレーションの見直しを必要とする大きな制度変更がなかったため見直しは実施していないが、引き続き、必要に応じてのシミュレーションは行うこととする。	—	—	
4		その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置					
	1	実施スケジュールの確立					



<p>平成23年度の実施スケジュールは次のとおりとする。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="340 236 564 274">項目</th> <th data-bbox="564 236 927 274">平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="340 274 564 331">管理運営体制</td> <td data-bbox="564 274 927 331">事業執行体制の拡充強化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="340 331 564 389">施設建築関係等</td> <td data-bbox="564 331 927 389">実施設計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="340 389 564 466">医師確保</td> <td data-bbox="564 389 927 466">臨床教育センターの設置事務</td> </tr> <tr> <td data-bbox="340 466 564 963">看護師等のコメディカルの確保</td> <td data-bbox="564 466 927 963"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師確保のため、パンフレット等によるPR活動や看護師養成機関等の訪問</li> <li>・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給</li> <li>・認定看護師資格取得費用支給要綱の確立による資格取得支援</li> <li>・薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討・募集の着手</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成23年度	管理運営体制	事業執行体制の拡充強化	施設建築関係等	実施設計	医師確保	臨床教育センターの設置事務	看護師等のコメディカルの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師確保のため、パンフレット等によるPR活動や看護師養成機関等の訪問</li> <li>・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給</li> <li>・認定看護師資格取得費用支給要綱の確立による資格取得支援</li> <li>・薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討・募集の着手</li> </ul>	<p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務執行体制の充実強化を図るため、人員体制等を整えた。 理事(H22)3人→(H23)5人 職員(H22)4人→(H23)12人 (一部再掲)</li> <li>・東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実施設計図書の作成が完了した。(実施設計業務委託金額138,960千円)</li> <li>・実施設計と並行し、千葉大学医学部と臨床教育センターの設置に係る事務協議を進めた。</li> <li>・看護師に関しては、看護部長の就任により募集体制を整え、全国の看護師養成施設等訪問し、奨学金制度の説明を含め、募集活動を実施した。 訪問施設総数 83施設 奨学金給付者 8人(計画15人) 奨学金受給者8人の内訳 平成24年4月採用予定 1人 平成25年4月採用予定 3人 平成26年4月採用予定 4人 (再掲)</li> <li>・認定看護師資格取得支援として6人分を公募したが、平成23年度内での応募はなかった。当該制度については、平成24年度も引き続き行うこととする。 (再掲)</li> <li>・平成28年度までの「医師、看護師、コメディカル職員、事務職員」についての各採用計画を策定し、人材確保の基盤とした。 (再掲)</li> </ul>	<p>3</p>	<p>3</p>
項目	平成23年度													
管理運営体制	事業執行体制の拡充強化													
施設建築関係等	実施設計													
医師確保	臨床教育センターの設置事務													
看護師等のコメディカルの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師確保のため、パンフレット等によるPR活動や看護師養成機関等の訪問</li> <li>・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給</li> <li>・認定看護師資格取得費用支給要綱の確立による資格取得支援</li> <li>・薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討・募集の着手</li> </ul>													

2	財政負担の原則		実施	東金市及び九十九里町からの貸付金・負担金を財源として実施設計業務を委託し、病院本棟ほか附属施設の実実施設計図書の作成が完了した。 (実施設計業務委託金額 138,960 千円) (再掲)	3	4	実施設計図書を予定額より安価に作成しており「4」とする。
	施設及び設備の内容	予 定 額					
	実施設計	総額 172 百万円	東金市及び九十九里町からの負担金及び貸付金				
3	地域に対する広報等		実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療センターニュース（1回発行）を発行するほか、新たにホームページを立ち上げ、地域に対する広報の環境を整えた。(平成23年度末ホームページアクセス件数 約38,000件)</li> <li>看護師募集その他については、設立団体の発行する広報も活用し、柔軟な広報活動を推進した。</li> <li>薬剤師会、住民団体、障害者団体等からの要請に応じて適宜に説明会を開催した。</li> </ul>	3	3	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>東金市及び九十九里町と協議し、医療センターの整備状況等を定期的に広報する。</li> <li>住民に開かれた医療センターとするため、情報提供と情報公開を推進する。</li> </ul>						
5	予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画						
			—	省略(財務諸表等による)	—	—	
6	短期借入金の限度額						
			—	平成23年度における短期借入金はない	—	—	
7	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画						
			—	平成23年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。	—	—	
8	剰余金の使途						

				—	・平成23年度においては、該当する剰余金はない。	—	—	
9		料金に関する事項						
				—	・平成23年度においては、該当する料金は無い。	—	—	
10		その他業務運営に関する重要事項（平成23年度）						
	(1)	施設及び設備に関する計画		—	・「第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で記載したとおり計画どおり実施した。	—	—	
	(2)	積立金の処分に関する計画		—	・平成23年度においては、積立金の処分に関する計画はない。	—	—	